

改訂日 2016年12月2日

作成日 2016年8月2日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：RID Zyme PYR テスト

対象：共通発色液

商品コード：334016

製品番号：RM334-K(50)

化学物質等の名称：塩化水素（含有量：3.08%）

製造者：片山化学工業株式会社

住所 大阪府箕面市稲4丁目1-7

担当部署：箕面事業所

電話番号 072-749-3009

供給者：株式会社LSIメディエンス

住所 東京都千代田区内神田一丁目13番4号

担当部署：学術部 インフォメーション担当

電話番号（緊急電話番号も同一）03-5994-2516

整理番号 1508

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	区分外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	分類できない

健康に対する有害性	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分1
	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
	急性毒性（吸入：ミスト）	区分4
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	区分1
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分外
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性 （単回ばく露）	区分2 呼吸器系
	特定標的臓器・全身毒性 （反復ばく露）	区分2 歯、呼吸器系
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境急性有害性	区分2
	水生環境慢性有害性	分類できない
絵表示又はシンボル		



注意喚起語 危険

危険有害性情報： 金属腐食のおそれ
吸入すると有害（ミスト）
皮膚刺激をおこす

重篤な眼の損傷をおこす
吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
臓器の障害のおそれ
長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ
水生生物に毒性
以下の器官を損傷するおそれがある： 呼吸器系
長期暴露または反復暴露により以下の臓器に障害を生じるおそれ： 歯、呼吸器系

注意書き：安全対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
適切な保護具を着用すること。
粉塵・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。
環境への放出を避けること。
他の容器に移し替えないこと。

注意書き：応急処置

気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。
眼に入った場合、数分間水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて、容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。
皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗うこと。
皮膚に炎症、刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用前に洗濯すること。
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

注意書き：保管

直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い冷暗所に保管すること。

注意書き：廃棄

内容物及び容器は国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
成分及び含有量：下記、一覧表に記載

成分	化学式 または	CAS No.	官報公示整理番号	含有量
----	------------	---------	----------	-----

	FW		化審法	安衛法	
塩化水素	HCl	7647-01-0	(1)-215	98	3.08%

危険該当成分：塩化水素

労働安全衛生法 通知対象物 政令番号 98

表示対象物 政令番号 98

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を空気の新鮮な場所に移動させ安静にし、直ちに医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ、直ちに製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら石鹼を使ってよく洗浄する。

皮膚刺激などが生じたときは医師の手当を受ける。

目に入った場合

直ちに清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、眼科医の手当を受ける。

洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し、直ちに医師の処置を受ける。

応急措置をする者の保護

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤：火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤：情報なし

特有の危険有害性：情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から

作業して風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法・機材

粉塵が飛散しない方法で掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：飲み込んだりしない。目や皮膚に触れないよう適切な保護具を着用する。

金属類、アルカリ性物質との接触を避ける。

保管：直射日光を避け、冷蔵（2～10℃）で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：

（塩化水素）

日本衛生学会（2014）（最大値）2 ppm； 3.0 mg/m³

（塩化水素）

A C G I H（2000）：上限値 2 ppm

保護具

手袋・保護メガネ・マスク・保護服(白衣)等を装着すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状：液体

色：黄色

臭い：刺激臭

pH：強酸性

沸点：100℃

引火点：データなし

発火点：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：法規制に従った保管及び取り扱いにおいては安定と考えられる。

危険有害反応可能性：通情の処理ではなし。

避けるべき条件：高温と直射日光、混触危険物との接触。

混触危険物質：塩基、強酸化性物質、金属類

危険有害な分解生成物：塩素

11. 有害性情報

(塩化水素として)

急性毒性：

経口 ラット LD50 238-277 mg/kg (SIDS, 2009)

経皮 ウサギ LD50 >5010 mg/kg (SIDS, 2009)

吸入（ミスト） ラット LC50 0.42 mg/L/4hr (SIDS, 2009)

局所効果：

皮膚腐食性・刺激性 ラビット/マウス/ラット/ヒト 腐食性 (SIDS, 2009)

目に対する重篤な損傷・刺激性 ラビット 腐食性 (SIDS, 2009)

感作性：

呼吸器感作性 Cat. 1; 日本職業・環境アレルギー学会

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：ヒトに対する発がん性については分類できない (IARC-Gr. 3)

催奇性：データ無し

生殖毒性：データ無し

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分1 (塩化水素) 呼吸器系 (ACGIH, 2003)

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

区分1 (塩化水素) 歯、呼吸器系 (SIDS, 2002)

吸引性呼吸器有害性：データ無し

12. 環境影響情報

(塩化水素)

藻類/水生植物 データ無し

魚 LC50=282 mg/L 96 h (*Gambusia affinis*)

甲殻類 EC50=0.492 mg/L 48h (*Daphnia magna*)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行うこと。

15. 適用法令

消防法：非該当

労働安全衛生法：名称を表示すべき有害物質

毒物及び劇物取締法：非該当

危険物船舶運送及び貯蔵規則：腐食性物質（危規則第3条危険物告示別表第1）

航空法：腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）

海洋汚染防止法：施行令別表第1有害液体物質Z類物質

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：非該当

16. その他の情報

参照情報：

1. 厚生労働省 職場のあんぜんサイト
2. 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂5版
3. 経済産業省 事業者向け GHS 分類ガイダンス(平成25年度改訂版(ver. 1.1))

本データシート内容につきましては、現時点での最新の情報を記載しておりますが、全てを網羅しているものではありませんので、取扱いの際には十分注意して下さい。又、記載されている値は、安全な取り扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。